

## 令和4年度 神奈川大学の留学生との交流会

### 1. 交流会の概要

本校は神奈川大学との間で高大連携の協定を結んでおり、その交流事業の一つとして、本校の生徒が英語のプレゼンテーションを作成して、神奈川大学の外国人留学生に説明を行った。

(1) 実施日時 令和5年3月9日(木) 14:00~16:30

(2) 実施場所 神奈川大学 みなとみらいキャンパス

(3) 時程の詳細

14:00~14:10 オリエンテーション(交時程の説明など)

14:10~14:50 キャンパスツアー

14:50~15:00 休憩

15:00~16:20 留学生との交流

- ・生徒が留学生に英語でプレゼンテーションを行う
- ・留学生との質疑応答

16:20~16:25 アンケートへの記入

16:30

(4) 参加生徒の人数など

- ・韓国姉妹校、オーストラリアの高校、ニュージーランドの高校の各オンライン交流委員から参加希望者を募った。
- ・1年生5名、2年生9名の計14名が参加した。

### 2. 生徒の事前学習

14名の生徒を4班に分け、班ごとにプレゼンテーション内容を決め、入学者選抜の自宅学習期間に発表用スライド等を作成した。

(1) プレゼンテーションの発表題

- ・サンリオのキャラクターについて
- ・日本の伝統文化について
- ・横浜氷取沢高等学校での学校生活について
- ・日本の文化と海外の文化の違いについて

## (2) 発表のリハーサル

- ・ 2月22日（水）と3月8日（水）の各放課後にリハーサルを実施した。
- ・ 2月22日のリハーサルでは、発表スライドの内容を確認し、次回にリハーサルまでに修正箇所を確認するとともに、英語によるスライドの説明に慣れる練習を行った。
- ・ 3月8日のリハーサルでは、発表スライドの修正を確認するとともに、交流会当日の日程の確認を行った。

## 3. 交流会当日の様子

- ・ 交流会の前半は、みなとみらいキャンパスのキャンパスツアーを行った。
- ・ キャンパスツアーは、発表班ごとに神奈川大学の学生が案内を行った。
- ・ 交流会の後半は、イタリア、スリランカ、韓国、ラトビアの留学生に対して、各班の生徒が5分程度の説明と、5分程度の質疑応答を行った。
- ・ その後、フリートークの時間とした。

「キャンパスツアーの説明の様子」



「留学生との交流の様子」



## 4. 事後の振り返り

- ・ 交流会の実施後、交流会の振り返りとキャンパスツアーの感想を聞いた。

### <交流会の振り返りの主な回答>

今回の留学生との交流で私が思ったことは2つあります。1つ目はネットで話す時と顔を合わせて話す時の緊張感は全く違ったもので、そしてまた楽しさも違った。オンラインの英会話ではスラスラ英語が出てきて緊張というのはなかったが、留学生との交流ではすごく緊張をしてしまった。しかし思いのほか台本を見ずに説明することが出来て、最後の会話の時では楽しく留学生と会話ができた。2つ目は日本と海外はたく

さんの違いが存在するという事です。当たり前であると思いますが、私が想像していた事よりも遥かに越えていました。たとえば日本と韓国はキムチの味が違い、韓国人にとってはすごく甘い物らしいです。この交流は自分の常識を壊してくれて、新しい世界を広げてくれる良い経験になりました。

普段ニュージーランドの高校生とオンラインで交流する機会がありますが、実際に面と向かって交流することは初めてだったのでとてもためになりました。リアルタイムで相手の反応がわかったり、タイムラグがない状態で会話ができることがよかったです。また、直接分からない単語を教えていただけるのでニュアンスの違いや間違えなども生まれず、やりやすかったです。また機会があれば参加したいです。

今回は、少ない人数での交流でしたが、私の英語力の向上につながる出来事だったと思います。

参加してくれた4人の留学生とは、この短時間で仲良くなれた気がするし、英語での交流は難しかったし、簡単にフレーズが出てこなかったりして友達に助けを求めたりして、なんとか会話を繋ぎました。

この交流を通して、英語を聞こうとしてずっと前のめりだったことがわかりました。前のめりで英語を聞いて英語で話すことがこの交流で心掛けていたことだと思います。またこの交流があったら、前回よりもパワーアップして交流生との会話を楽しんで行けたらいいなと思います。

「留学生との交流の様子」



「留学生との交流の様子」



交流会を通して様々な国の人達と話すことが出来ました。アメリカやオーストラリアなど慣れ親しんだ国の人々の英語ではなくイタリア人や韓国人の英語を聞くことが出来、国によって英語は英語でも全然違うことがわかり、新たな発見につながりました。

ラトビアなど全く触れたことのない国の人とも話すことが出来、貴重な体験になりました。どの国の方も日本語がとても流暢で驚きました。それと同時に、私自身も英語をスラスラと話せるように勉強したいと感じました。

#### <キャンパスツアーの感想の主な回答>

外見だけでなく、大学内の仕組みもわかったおかげで自分が将来的にどのような学科に進みたいかや興味を持った学科を探すこともでき、とても良い機会になりました。

案内をしてくれた大学生さんの説明もわかりやすく、楽しく大学内を見学する事ができ、進路の事を考えた時にとっても参考になると思いました。

「大学生になると自分から行動することが増えてくる」と言っていたので高校生活でも自分から行動していく機会を行事などで増やしていきたいと思いました。

大学をこれからしっかり考えていかないといけない時期に、大学生の案内でキャンパス内を回り、大学生の声を直接聞くことが出来たのが良かった。勉強するスペースで勉強している人とかもいて、普段の大学生活の様子が見ることが出来た。図書館に多くの本があることや防音の勉強スペースカフェがあるなど、いろいろな施設を見ることで大学生になる実感が湧いた。

#### 5. 今後の展望

令和5年度も大学の留学生との交流を継続したい。実施にあたっては、今年度と同様、参加生徒への事前学習をきちんと行った上で、実施の時期については大学と早めに調整を行いたい。また、交流する大学についても増やしていきたい。

##### 「留学生との交流」



##### 「集合写真」

